

芦別市公共施設等総合管理計画

平成 28 年 3 月策定
令和 5 年 3 月改定

芦別市

はじめに

我が国における公共施設等の多くは、高度経済成長期の急激な社会環境の変化に追随する形で建設が行われ、本市においても、昭和40年代から平成10年代前半にかけて、学校教育系施設や子育て支援施設、スポーツ・レクリエーション系施設などの整備を行ってきました。



本市のみならず全国において、こうした公共施設等の多くが老朽化の問題に直面しており、人口減少や少子高齢化の進展、市民ニーズの多様化などによる利用者の減少といった状況にも陥っています。

こうした施設を今後も有効に活用していくためには、経年劣化に伴う維持補修に加え、大規模改修や建て替えなどが必要となりますが、現在の本市の厳しい財政状況を考慮すると、これらすべての公共施設等を維持管理・更新することは困難であるのが実情です。

このような現状を踏まえて、平成28年3月に「芦別市公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点に立った公共施設等の管理を進めてまいりましたが、予想よりも早い人口減少、新型コロナウイルスの感染拡大による社会情勢の変化のほか、公共施設等の適正な管理に関する国の諸制度変更などにより、この度、本計画の見直しを行うことといたしました。

今後も市民の皆様が安全安心に利用できるよう、公共施設等の適正な管理に努めてまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年3月

芦別市長 荻原 貢

目 次

●第 I 部 公共施設白書

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 第 1 章 作成にあたって | 1 |
| 1-1 背景 | 1 |
| 1-2 目的 | 2 |
| 第 2 章 芦別市の概要 | 5 |
| 2-1 芦別市の概況 | 5 |
| 2-2 人口の推移・将来予測 | 7 |
| 2-3 財政状況の推移 | 9 |
| 2-4 他自治体との比較 | 16 |
| 2-5 公共施設の保有状況 | 20 |
| 2-6 将来のライフサイクルコスト | 23 |
| 第 3 章 公共施設の現状と課題 | 26 |
| 3-1 評価の方法 | 26 |
| 3-2 市民文化系施設（11施設） | 38 |
| 3-3 社会教育系施設（4施設） | 46 |
| 3-4 スポーツ・レクリエーション系施設（18施設33棟） | 50 |
| 3-5 学校教育系施設（5施設16棟） | 66 |
| 3-6 子育て支援施設（1施設2棟） | 74 |
| 3-7 保健・福祉施設（2施設3棟） | 77 |
| 3-8 行政系施設（12施設） | 80 |
| 3-9 公園 | 89 |
| 3-10 供給処理施設（2施設） | 90 |
| 3-11 その他の施設（22施設89棟） | 93 |
| 3-12 医療施設（1施設1棟） | 128 |
| 3-13 高齢福祉施設（介護サービス会計）（1施設1棟） | 131 |

| | |
|-------------------------|------------|
| 第4章 インフラ施設の現状と課題 | 134 |
| 4-1 道路の現状と課題 | 134 |
| 4-2 橋梁の現状と課題 | 136 |
| 4-3 上水道の現状と課題 | 138 |
| 4-4 下水道の現状と課題 | 142 |
| 4-5 公園の現状と課題 | 144 |
| 第5章 地域別の状況 | 145 |
| 5-1 地域別の概要 | 145 |
| 5-2 地域別人口 | 146 |
| 5-3 地域別施設設置状況 | 147 |
| 第6章 むすびに（課題） | 161 |

● 第Ⅱ部 公共施設等総合管理計画

| | |
|--|-----------|
| 第1章 問題意識と目的 | 1 |
| 第2章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針 | 4 |
| 第3章 基本的な考え方 | 8 |
| 第4章 総合的管理の三つの基本戦略 | 10 |
| 4-1 基本戦略Ⅰ 公共施設等の長寿命化によるLCC縮減 | 10 |
| 4-2 基本戦略Ⅱ 公共施設規模の適正化によるLCC縮減 | 22 |
| 4-3 基本戦略Ⅲ まちづくりの視点での検討 | 25 |
| 第5章 計画の取組体制とフォローアップ | 32 |